

第5号様式（第6条関係）

綾瀬市立春日台中学校 学校運営協議会会議録

会議の名称	第2回綾瀬市立春日台中学校 学校運営協議会		
開催日	令和5年11月17日（金）		
開催時間	16時00分～17時00分		
開催場所	綾瀬市立春日台中学校		
議長	戸田 隆（会長）		
出席者	戸田隆（会長）、赤名卓也（副会長）、伊藤正貴（地域コーディネーター）、校長、教頭、総括5名		
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
会議の内容			
<p>【議題】</p> <p>① 本校の実状・課題の確認について（各総括より）</p> <p>② 今後の取り組みについて（各総括より）</p> <p>③ その他</p>			
<p>【主な意見・決定事項など】</p> <p>〔A：教育計画〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒の実態に即した教育課程を編成し、充実した学習活動を企画運営していく」という目標を掲げ、授業時間の確保・日程の調整・学習環境の改善を進めている。 ・校内研究では「自ら考え、学ぶ生徒の育成」～生徒が学びたくなる問いの工夫～をテーマに目標と振り返りを大切にしながら授業を展開できるように全ての先生が研究授業を行い、授業の質の向上を目指している。 ・総合的な学習の時間では、3年生の優秀者発表会に1・2年生も参加し、次年度への意欲に繋げていきたい。2年生のテーマが職業ということで地域との連携として、本校の地域コーディネーターである伊藤正貴さんに11/28(火)、職業講話をお願いしている。 <p>〔B：校外連携〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登校指導を5/17(水)、9/26(火)にPTAの見守りパトロールの方と連携し、実施した。生徒の登校の様子を見て、安全に登校できるよう声をかけていく活動で“挨拶がよくできている”“多くの生徒が交通ルールを守り、安全に登校していた”など、職員やPTAの方から報告をもらった。一方で歩道を広がって歩いているなどの意見を受け、周りの状況に気を配るよう生徒に指導した。 ・春日台中学校区3校で育てたい子ども像を共有し、実現させることをねらいとした春日台中学校区(春日台中・土棚小・落合小)の小中一貫教育の取り組みで 			

は、校内研への参加、小中交流会、授業参観を実施している。第1回小中交流会を8/29(火)に春日台中学校にて実施し、S W O T分析を用いて、小中の先生で児童・生徒たちの実態・強みや弱み等を話し、今後の指導を検討した。

- ・10/28(土)春綾祭(P T Aの保護者主催の学校祭)を開催された。今年度から飲食をありにし、基本的には地域の方や学区の小学6年生を対象に、P T Aの各委員会からの出店、生徒会の生徒たちのパフォーマンス、有志で参加する生徒や先生方の演奏などがあり、生徒たちも大変楽しんでおり様子であった。

[C : 生き方指導]

- ・2学期から配膳方法が変わったが、大きな混乱もなく工夫しながら進めている。
- ・道徳の講演会に式町水晶さんをお呼びし、人権侵害、いじめ等について考える機会とし、自分だけでなく相手への思いやりの心や生命の尊さを考える場となった。
- ・感染症対策としては、本校の生徒は手洗い・消毒が習慣になっているためか、インフルエンザ等の蔓延も抑えられている。
- ・進路説明会を本校はオンラインで実施している。賛否はあるが定着しつつある。わざわざ、日程を合わせることなく、生徒と保護者で話し合いながらいつでも見られるので良いという意見を本校の副会長である赤名卓也さんからいただいた。

[D : 適応支援]

- ・体育祭・合唱祭を終えて、全体的に落ち着いた生活ができている。しかし、地域の方から下校時のマナーについてご指摘いただくこともある。予防的指導をしていきたい。
- ・あいさつ運動を行い、誰に対しても気持ちよく挨拶のできる元気で活力のある生徒の育成を目指していきたい。

[E : 生徒活動]

- ・体育祭・合唱祭どちらも、生徒たちがよく頑張ってくれた大変良い行事となった。
- ・11/18(土)に開催される落合小学校、土棚小学校のお祭りに本校の各部活動(運動部)が出向き、体験会を行う。次年度入学してくる生徒たちへの中学校に対する期待や意欲に繋げていきたい。部活動に関しては、“地域移行について、こういった形になっていくのか”というご指摘もあり、生徒の生活スタイルがどのように変わっていくのか不安視する意見もあった。
- ・11/3(金)に開催された“スマイルウェーブ地域フォーラム”での本校のピンクシャツデー活動等の発表についても、多くの方々から好評のお言葉をいただき発表を終えた生徒たちの自信にも繋がっているようであった。

【その他】

- ・地域コーディネーターの伊藤正貴さんから、「ワイアーアート等ワークショップを通して、ものづくりの楽しさを味わってもらい取り組みを部活動や授業で協力できれば」というお話をいただき、地域の特色を生かして、生徒たちの学びを広げていけるような取り組みを進めていきたい。
- ・公民館のイベントへの中学生の参加・参画を促していくためにはどのような方法があるかを検討。土日も部活動や習い事でなかなか参加するのが難しいのかもしれないが中学生にとって魅力的な内容であったり、広報の仕方に工夫があれば等の意見が挙がった。

【配付資料】

第2回学校運営協議会次第、校外連携補足資料、スマイルウェーブ関係資料

次回開催予定

第3回 学校運営協議会 (2月26日)